



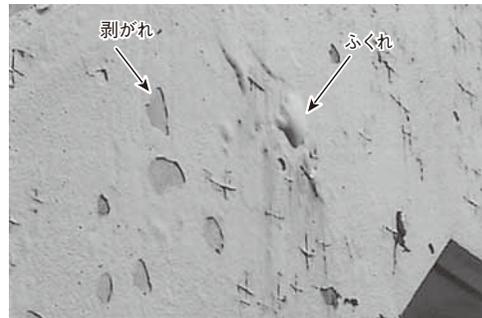
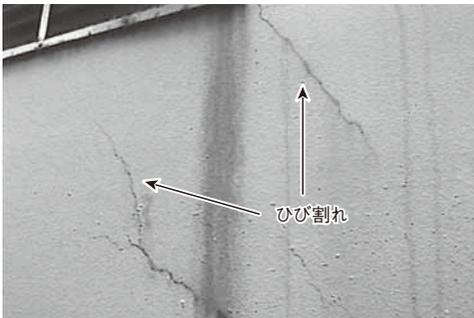
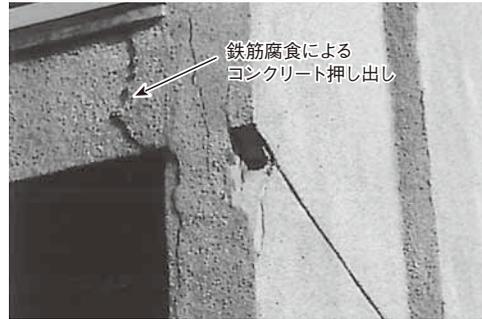
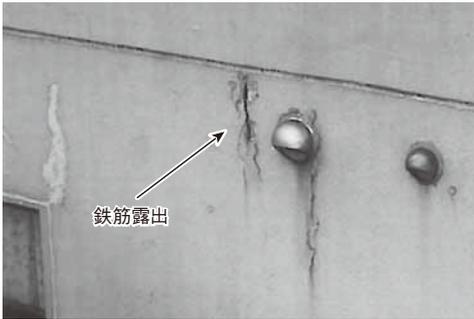
外壁防水材は建物の長寿命化にどのように役に立つのですか？

A 建物を劣化(中性化, 塩害, アルカリ骨材反応, 凍害)から守るためには, 外壁コンクリートに水を浸入させないことが最も重要です。また, 中性化はCO₂ガス, 塩害は塩化物イオン(Cl⁻)の侵入を阻止することが重要です。中性化・塩害による鉄筋腐食を防ぐには, 腐食の必須成分である水, 酸素(空気)を侵入させないことです。

建物の長寿命化を発揮する外装材は, 防水機能を持っていないければなりません。そして, 長期にわたって破断, 剥がれ, 割れ等の欠陥を生じることなく連続したバリアー層を維持することが求められます。それを10年以上にわたって期待できるのが外壁用塗膜防水材です。

以下に一般の外装材の不具合事例を示します。外装材に割れ, 剥がれを生じると, そこから劣化因子がコンクリート中に侵入して劣化が始まります。外装材には, そのような欠陥を生じない耐久性に優れたものが求められます。それは, JIS A6021「建築用塗膜防水材」(外壁用)に適合した高品質の材料ときちっと管理された責任施工によって初めて得られるものです。

【一般外装材の不具合例】



今回は, 外壁用塗膜防水材の寿命とメンテナンスについてお話しします。